

函館商工信用組合の現況

(平成 26 年度上期の経営情報)

■ 開示項目のご案内 (索引)

・ごあいさつ	1 頁
・地域貢献活動とトピックス	1 頁
・預金・貸出金の状況	2 頁
・損益の状況	2 頁
・自己資本比率の状況	2 頁
・金利リスクに関する事項	2 頁
<金利リスク算定の説明>	3 頁下
・金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額	3 頁
・有価証券、金銭の信託等の取得原価 または契約価格、時価及び評価損益	4 頁
・有価証券種類別平均残高	4 頁
・貸出金業種別残高・構成比	4 頁

■ ごあいさつ

みなさまには、日頃より格別のご愛顧お引き立てを賜り、心からお礼申しあげます。

このたび、当組合の現況（平成 26 年度上期の経営情報）をまとめましたので、ご理解を深めていただくための資料として、ご高覧賜りたいと存じます。

函館商工信用組合は、組合員の皆様の身近な存在として、地域との「つながり」を大切にし、本当にお役に立てる金融機関をめざします。今後も経営の健全性と透明性ならびに基盤強化に努めてまいりますので、一層のご支援とご指導のほど心からお願い申しあげます。

平成 26 年 11 月

函館商工信用組合

理事長 山本富靖

■ 地域貢献活動とトピックス (平成 26 年 4 月～9 月)

6 月	第58回通常総代会開催 (25日)
7 月	北斗市夏まつりパレードに参加 (北斗支店)
8 月	函館港まつり『ワッショイはこだて』に参加 (全店) インターンシップ研修実施
9 月	しんくみの日週間で清掃奉仕・献血活動を実施

■ 預金・貸出金の状況

(単位：百万円)

	平成25年度上期	平成26年度上期
預金積金	28,737	29,100
当座預金	258	268
普通預金	7,921	8,451
通知預金	—	—
定期預金	19,370	19,175
定期積金	1,151	1,166
その他の預金	36	38

	平成25年度上期	平成26年度上期
貸出金	16,911	16,983
割引手形	306	320
手形貸付	2,641	2,267
証書貸付	12,974	13,474
当座貸付	988	921

(注) 預金・貸出金の計数は期中平均残高で表示しております。

■ 損益の状況

(単位：百万円)

	平成25年度上期	平成26年度上期
業務純益	15	36
経常利益	9	29
当期純利益	8	28

■ 自己資本比率の状況

自己資本比率	平成25年9月末	平成26年9月末
	5.28%	5.11%

(注) 国内基準(4%)を上回る水準となっております。

■ 金利リスクに関する事項

	平成25年9月末	平成26年9月末
金利ショックに対する 損益・経済価値の増減額	18	107

金融再生法開示債権及び同債権に対する保全額

(単位：百万円、%)

区 分		債権額 (A)	担保・保証等 (B)	貸倒引当金 (C)	保全額 (D)=(B)+(C)	保全率 (D)/(A)	貸倒引当金 引当率 (C)/(A-B)
破産更生法債権及び これらに準ずる債権	平成25年9月末	717	337	379	717	100.00	100.00
	平成26年9月末	868	454	414	868	100.00	100.00
危険債権	平成25年9月末	246	110	90	201	81.48	66.49
	平成26年9月末	364	167	121	288	79.05	61.32
要管理債権	平成25年9月末	31	32	8	40	128.85	-903.39
	平成26年9月末	0	0	0	0	0.00	0.00
不良債権計	平成25年9月末	995	480	478	959	96.32	92.90
	平成26年9月末	1,233	621	535	1,157	93.81	87.52
正常債権	平成25年9月末	16,116					
	平成26年9月末	16,010					
合 計	平成25年9月末	17,111					
	平成26年9月末	17,244					

- (注) 1. 「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」とは、破産、会社更生、再生手続等の事由により経営破綻に陥っている債務者に対する債権及びこれらに準ずる債権です。
2. 「危険債権」とは、債務者が経営破綻の状態には至っていないが、財政状態及び経営成績が悪化し、契約に従った債権の元本の回収及び利息の受取りができない可能性の高い債権です。
3. 「要管理債権」とは、「3カ月以上延滞債権」及び「貸出条件緩和債権」に該当する債権です。
4. 「正常債権」とは、債務者の財政状態及び経営成績に問題がない債権で、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」、「危険債権」、「要管理債権」以外の債権です。
5. 「担保・保証等(B)」は、自己査定に基づいて計算した担保の処分可能見込額及び保証による回収が可能と認められる額の合計額です。
6. 「貸倒引当金(C)」は、「正常債権」に対する一般貸倒引当金を控除した貸倒引当金です。

<金利リスク算定の説明>

<ul style="list-style-type: none"> ・計測手法 <ul style="list-style-type: none"> 「金利ラダー表を使用したその他計算方式(再評価法)」 ・コア預金 <ul style="list-style-type: none"> 対象：別段預金を除く流動性預金(当座、普通等) 算定方法： <ul style="list-style-type: none"> ①過去5年の最低残高、 ②過去5年の最大年間流出量を現残高から差引いた残高、 ③現残高の50%相当額、 以上3つのうち最小の額を上限 満期：5年以内(平均2.5年) ・金利感応資産・負債 <ul style="list-style-type: none"> 預貸金、有価証券、預け金、その他の金利・期間を有する資産・負債 ・金利ショック幅 <ul style="list-style-type: none"> 1パーセンタイル値又は99パーセンタイル値 ・リスク計測の頻度 <ul style="list-style-type: none"> 月次(前月末基準) ・銀行勘定の金利リスク量は、運用勘定の金利リスク量と調達勘定の金利リスク量を相殺して算定しております。

■ 有価証券、金銭の信託等の取得原価または
契約価格、時価及び評価損益

(単位：百万円)

項 目		取得原価 又は契約価格	時 価	評価損益
有価証券	平成25年9月末	25	25	—
	平成26年9月末	1,012	1,024	—
金銭の信託	平成25年9月末	—	—	—
	平成26年9月末	—	—	—
デリバティブ 等商品	平成25年9月末	—	—	—
	平成26年9月末	—	—	—

(注) 1. 「時価」は、「金融商品に係る会計基準の設定に関する意見書」(企業会計審議会：平成11年1月22日)に定める時価に基づいて表示しております。

なお、時価のないものについては、帳簿価格で表示しております。

2. 「金銭の信託」及び「デリバティブ等商品」については当組合は取扱がありません。

■ 有価証券種類別平均残高

(単位：百万円・%)

区 分	平成25年度上期		平成26年度上期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
国 債	—	—	576	95.7
地 方 債	—	—	—	—
社 債	—	—	—	—
株 式	25	100.0	25	4.3
その他の証券	—	—	0	0.0
貸付有価証券	—	—	—	—
合 計	25	100.0	602	100.0

(注) 当組合は、商品有価証券を保有しておりません。

■ 貸出金業種別残高・構成比

(単位：百万円・%)

業 種 別	平成25年9月期		平成26年9月期	
	金 額	構成比	金 額	構成比
製造業	523	3.1	550	3.2
農業、林業	154	0.9	141	0.8
漁業	0	0.0	1	0.0
鉱業、採石業、 砂利採取業	5	0.0	28	0.2
建設業	2,214	13.0	2,120	12.3
電気、ガス、 熱供給、水道業	—	—	—	—
情報通信業	36	0.2	34	0.2
運輸業、郵便業	74	0.4	61	0.4
卸売業、小売業	1,234	7.2	1,454	8.5
金融業、保険業	358	2.1	415	2.4
不動産業	3,002	17.6	2,674	15.5
物品賃貸業	0	0.0	—	—
学術研究、 専門・技術サービス業	90	0.5	88	0.5
宿泊業	40	0.2	38	0.2
飲食業	411	2.4	461	2.7
生活関連サービス業、 娯楽業	682	4.0	776	4.5
教育、学習支援業	—	—	—	—
医療、福祉	112	0.7	101	0.6
その他のサービス	506	3.0	545	3.2
その他の産業	204	1.2	227	1.3
小 計	9,653	56.5	9,721	56.5
地方公共団体	261	1.5	176	1.0
雇用、能力開発機構等	—	—	—	—
個人(住宅・消費 ・納税資金等)	7,163	41.9	7,309	42.5
合 計	17,077	100.0	17,207	100.0

函館商工信用組合

〒040-0033 函館市千歳町9番6号

電話 0138-23-2101

F A X 0138-26-6036